

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課(211-2536)
-----	-------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①大通公園 ②創成川公園	所在地	①中央区大通西1～12丁目 ②中央区北2条～南4条西1東1
開設時期	①昭和55年6月6日 ②平成23年3月31日	面積	①78,901㎡ ②18,245㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	大通公園、創成川公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	①芝生広場、花壇、噴水、イベント広場、野外ステージ、遊具広場、バラ園 ②トイレ、多目的トイレ、車いす用水飲み台、休憩施設、アートワーク、モニュメント		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 2 複数施設を一括指定の場合、その理由: ①公園管理事務所を有しない公園と有する公園をグループ化し、公園管理上の支障をなくす。 ②公園管理上の経費及び効率化(環境負荷の低減等)の面から、比較的近接している公園をグループ化した。		
業務の範囲	公園維持管理業務		
3 評価単位	施設数: 2 複数施設を一括評価の場合、その理由: 管理対象がすべて公園で、同一の管理事務所にて管理しており、別個の評価をしないため。		

Ⅱ 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 大通公園、創成川公園においては、以下の基本方針に基づいて管理運営にあたった。 ① 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高めます。 ② 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供します。 ③ 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供します。 ④ コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸団体・機関との連携・協働を推進し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高めます。 ⑤ みどりの保全・景観形成に取り組み、新たなみどりを創出し、地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全による良好な都市環境を形成します。 ⑥ みどりと人、みどりとみどり、人と人をつなげるネットワークを形成し、札幌を代表する公園としてみどりとともに札幌のまちの魅力を伝えます。	園内を利用者が快適に利用できるよう、不法行為、スケートボード利用等迷惑行為などに対して利用指導をするとともに、注意看板の設置や園内放送をすることで利用機会の確保に努めた。 管理運営においてはコンプライアンスを遵守して遂行する他、利用者を対象にアンケート調査を行い、可能なものは反映して改善を図った。 老朽化した施設・設備等については適時点検を行い、緊急性のあるものは札幌市と相談し処置を行い、安易なものは早急に修繕して維持管理に努めるとともに、環境負荷を軽減するため、節電や節水、植物リサイクルに努めた。 清掃及び植物系のボランティア活動を可能な範囲で実施し、市民と協働で公園の魅力向上を図った。また、団体による花壇の花植えや企業による園内清掃などを支援し、円滑に活動を遂行した。 自主事業においては市民や利用者へのサービス提供を図るとともに、多くの参加者が楽しめるイベント企画を実施した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 日常的な維持管理について、安定して高い水準で行われています。	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 「年齢や障がい程度、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い等によって、公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用者には不公平感を抱かせることのないよう、スタッフへの教育を徹底し、施設の管理運営を行う」という方針を策定し取り組んだ。 ▼管理事務所及びインフォメーションセンタースタッフ全員がサービス接遇検定資格を取得しており、利用者が不快にならない接遇対応を図っている。 ▼車いすやベビーカーの無料貸出を行った。 ▼公園情報のほか、花の開花状況や園内作業や施設補修等による利用制限に関する情報をホームページに適時掲載し、園内の情報提供と利用機会の平等を図った。 ▼ホームページ担当者はWEBアクセシビリティ講習を受講して運用に活用している。	利用者と接するスタッフは、利用者に満足いただける接遇にて対処しており、利用者アンケート調査による満足度項目で高評価の成果が出ている。 車いすやベビーカーの貸出においては、来園者や観光客からの問い合わせも多く、利用者数は増えている。 WEBアクセシビリティ講習で学んだことを活用し、高齢者や障がい者の方達に分かりやすいホームページ運営を心掛けた。	大通公園は市民や観光客など様々な方が訪れる公園ですが、接遇や平等利用に関して、利用者が気持ちよく過ごせるよう、よく心掛けていることを評価します。講習で学んだことを活用し、今後も高い水準を維持できるよう努めてください。
▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 当協会独自のEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。 ▼全スタッフに対してEMS教育を実施した。 ▼一般ごみと資源化ごみの分別を徹底することでごみの減量化に努めた。 ▼剪定枝のチップ化など、植物リサイクルを実施した。	一般ごみと資源化ごみの分別の徹底、植物系廃棄物の再資源化を図ることで、焼却するごみの減量化に努めた。	適切に行われていると評価します。今後も再資源化、ごみの減量化に努めてください。
▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成） ▼従事者の採用は、ホームページや求人情報誌等を活用して書類選考、筆記・面接試験を行い、適切に選考した。 ▼普通応急救命、刈払機等作業資格講習、マネジメント講習等の教育、各資格講習を受講・実施し、スタッフの育成を図った。 ▼雇用開始時の安全研修や各作業前の安全指導、冬季作業研修等を徹底し、安全作業に努めた。 ▼協会内部において安全パトロールを実施し、日常管理状態に不備がないかを再確認した。 ▼他公園・施設で発生した事故や苦情等の情報を全スタッフで共有し、自公園で発生した際の対応策について検討し、注意喚起を行った。 ▼緑地管理における草刈機等作業機の使用について、メーカー指導員の講習を行い、公園スタッフのスキルアップを図った。	雇用開始時（4月）には、作業や接遇、環境マネジメント、緊急対応フロー等の講習会を実施し、公園管理者としての教育を行った。 当協会内部にて全公園を対象にした安全パトロールを年2回実施し、安全に対するスタッフの意識向上やコンプライアンスの徹底を図った。 業務で必要な資格を取得させることでスタッフのモチベーション向上と作業時の安全性を高めた。 冬期除雪作業で使用する除雪機の取り扱い研修を従事するスタッフへ実施し、事故防止と安全作業の意識を高めた。	適切に行われていると評価します。管理作業にとどまらず、公園の運営についてもより一層の知識と工夫の向上を期待します。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼芝生管理において、草刈、施肥、灌水等を計画通りに実施した。
▼カラスによる芝被害も発生したので張芝や播種にて芝生再生を図り、生育維持に努めた。
▼樹木管理において、年間を通して枯損枝除去や剪定作業を進め、安全対策を図った。
▼高位置の折れ枝等は、適時、高所作業車を用いて剪定を行い処理した。
▼各水景施設において、塩素や防藻剤を投入することで水質管理を行った。
▼西9遊水路においては常時水質管理を行っており、水の汚濁を防ぐため通常の路盤清掃の他に貯水槽内の清掃回数を増やし、循環水の清浄に努めた。
▼ライラックの開花後は枯花芽を剪定し、翌年の開花に備えた。(大通公園・創成川公園)
▼園内利用や通行の支障となるハギについて、生長調整を目的とした剪定を行った。(創成川公園)
▼園内にあるスプリンクラーや給水配管、散水栓等の水回り設備において経年劣化や摩耗による損傷、破損が多数見られたため、部品交換等の修繕を行い、安全使用に努めた。(大通公園・創成川公園)
▼園内に設置している座板ベンチの木製座板において腐朽等でひび割れや欠損しているものが見られたため、座板を交換することで安全使用に努めた。(大通公園・創成川公園)
▼冬期間には、降雪のたびに園路除雪を行い、市民が快適に園内を歩けるよう努めた。(大通公園・創成川公園)

芝生管理では、夏季の定期的な灌水に尽力し、芝枯れ防止に努めた。観光客の写真撮影にて踏まれる芝の枯死した箇所やカラスによる芝生剥ぎ取り箇所には播種や張芝作業を適時行い、可能な限り再生・復旧させた。

樹木管理では、安全に留意して大規模イベント開催期間前後に剪定作業を遂行した。高木については業者に委託発注し、枯死及び落下枝防止等に努め、利用者の安全を確保した。

噴水施設では、全噴水を計画通りに4月及び6月に通水開放した。稼働時には清掃や防藻剤による水質管理により、景観及び利用の機会を確保することで市民サービスへつなげた。

園内の木製ベンチに腐朽や亀裂が生じた材が年々見られるため、今後も計画的な修繕計画により利用者の安全を確保する。

創成川公園でも、夏季の定期的な灌水に尽力し、芝枯れ防止に努めた。

創成川公園内の木製ベンチやデッキにも腐朽や亀裂が生じた材が年々見られるため、今後も計画的な修繕計画にて利用者の安全を確保する。

イベントが続く維持管理作業を行うタイミングを合わせる事が難しい中で、適切に管理されていると評価します。また物価変動や人件費の高騰、中東情勢による物資調達の難化などの影響により、維持管理が厳しい中ではありますが、除雪、高木剪定、芝生維持関連、路面サイン更新等については、柔軟かつ確実に実施をお願いします。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

特殊性、専門性などにより、直営では困難・非効率な業務について、下記の通り第三者に委託した。

- ▼管理事務所他機械警備
- ▼園内清掃及び公衆トイレ、西3喫煙所清掃
- ▼消防設備点検
- ▼空調設備点検
- ▼噴水設備等(西3、4及び遊水路)維持管理
- ▼電気保安点検業務
- ▼公衆トイレ自動ドア点検
- ▼一般ごみ処理、ビン・カン等処理
- ▼産業廃棄物処理
- ▼遊具保守点検
- ▼倒木・危険木処理
- ▼冬季清掃
- ▼園路除雪
- ▼創成川公園園内清掃(福祉)
- ▼創成川公園除草業務(福祉)
- ▼その他、直営では困難なもの(修繕・警備など)

監督は現場のマネージャー及びサブマネージャーが行い、着手届、終了・完了届や報告書(写真、日報・月報等)などで履行確認を行った。

第三者に対する委託については、札幌市に承認を申請し、滞りなく業務を完了することができた。

創成川公園では、草刈等の専門的作業に人工がとられるため、日常的な簡易作業である清掃及び除草作業を福祉施設へ委託した。

委託費のうち、特に噴水設備等維持管理費においては、人件費及び工賃の価格上昇にて予算見込みを大幅に超えてしまったが、他経費の節減・節約にて維持契約を結び、市民へのサービス提供を図った。

適切に実施されており、昨年同様経費の節減・節約により打開している点を評価します。委託業務の内容については、確実に履行確認を行い、改善の余地があるものについては指導を行ってください。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況

開催回	協議・報告内容
運営協議会 3月19日	・自主事業等の実施状況 ・協議を希望する事項 ・その他、まとめ
<協議会メンバー> みどりの管理課: 公園管理係長、公園維持係長、担当者2名 公園緑化協会: 事業推進課長、大通公園職員2名	

運営協議会では、指定管理者からの自主事業報告、老朽化施設の修繕・更新・改修事項や喫煙対策、2公園のその他問題点について協議し、施設修繕については札幌市の見込みと問題点への理解等、今後に向けた回答を得た。

適切に実施されています。協議会開催時に限らず、日頃から連絡調整を密に行い、管理運営の向上に引き続き努めてください。

▼ 利活用協議会の開催状況

開催回	協議・報告内容
利活用協議会 2月27日	・令和7年度における公園の実施事業 ・ボランティア活動及び令和8年度の事業・活動予定 ・令和7年度の公園運営における課題等について ・各施設及び地域、学校等からのご意見・話題提供 ・その他
<協議会メンバー> まちづくりセンター所長、連合町内会会長、さっぽろテレビ塔部長、札幌市資料館館長 公園緑化協会: 事業推進課長、大通公園職員2名 計13名	

利活用協議会では、新旧メンバーの自己紹介と大通公園、創成川公園での活動報告、課題、今後の運営についての議論を行い、現状の問題点など各団体から意見を得ることができた有意義な開催となった。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。 ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士事務所による外部監査を導入している。 ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。	不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。 不正経理等はなく問題はない。	適切に実施されています。今後も、複数名による確認を怠らないよう徹底してください。
▽ 要望・苦情対応 ▼要望・苦情については、対応可能な案件は適時対応した。 ▼利用者の迷惑行為については、口頭での指導及び注意標示で対応した。 ▼公園で発生した苦情等は報告書を提出し、当協会全体で共有した。 ▼苦情等は期報にて取りまとめ、札幌市に報告した。 ▼大型イベントの苦情は、札幌市及び主催者、関係機関と連絡・調整し、迅速に対応した。 ▼自転車乗り入れ行為は日常巡回時に可能な限り指導し、大通公園・創成川公園入口の各所車止めに注意標示を貼り付けた。 ▼西8・9丁目の連結園路を横横断する自転車の乗り入れ防止にて、「自転車走行禁止」のスタンド標示物を設置した。 ▼西3～5丁目の公園入口路面に貼り付けている「自転車・スケボー・キックボード禁止」標示について、破損標示は全て新規標示に貼り替えて注意喚起を継続した。 ▼スケートボードについては、日々の巡回時に走行を発見した際は、注意喚起を行っている。また、西3・4丁目においては、放送設備による注意喚起を行った。 ▼喫煙制限区域では、喫煙されている方に禁煙エリアであることを説明するなど対応した。また、喫煙制限区域外には受動喫煙の配慮を促す簡易看板を掲示した。 ▼カラスやハトへの給餌を日常巡回時に発見した際は、野鳥生物保護の観点から給餌を控えていただくよう説明した。	スケートボード利用に関しては、日常巡回時や苦情が入った際には都度、利用者への禁止指導とマナー啓発を行い、公園利用者が快適に利用できる環境の確保に尽力した結果、日中の滑走者は数名であった。 喫煙制限区域(西1～4丁目)以外での喫煙が非常に多く、苦情も多いため、受動喫煙に配慮を促す表示物や厚生労働省のロゴを園内に掲示したが、周囲ビル街から休憩時間に出てくる喫煙者の入れ替わりが多すぎて対応に苦慮している。 西5丁目南側、西7丁目・8丁目・12丁目北側においてはボイ捨てや立ちの喫煙者が多いため、対応に苦慮している。 創成川公園においても喫煙が非常に多く、苦情も多いため、受動喫煙に配慮を促す表示物や厚生労働省のロゴを園内に掲示したが、周囲ビル街から休憩時間に出てくる喫煙者の入れ替わりが多すぎて対応に苦慮している。 その他、日常巡回により、不法・迷惑行為を見かけた際は注意及び指導をした。	園内掲示や巡回時の指導等、適切に対応されていると評価します。 問題解決のため引き続き効果的な対策を試行し、検討・調整を行っていきたいと考えます。
▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼市民を対象としたアンケート調査を実施した。 ▼EMSの環境目標及び評価を実施した。 ▼指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、取り組んだ。 ▼札幌市の業務等検査は適正に対応した。 ▼月間、四半期、年間の実績報告書を札幌市へ適正に提出した。 ▼その他、札幌市より調査依頼のあったものは随時確認、調査し、報告した。	札幌市への報告や連絡、相談、検査、照会などは都度適切に対応し、報告した。	適切に実施されています。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)		A B C D
	▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金1,075円(令和7年10月4日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取り組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取り組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から3名が正規職員となった。 ▼大通公園・創成川公園での労災発生 1件	指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。 事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。 大通公園・創成川公園での労働災害発生ゼロを目指していたが、作業中に労災(チェンソーによる切創)が発生してしまったため、再発防止に向けて発生原因の追及と今後の対策について研修会及び全現場対象の安全大会を実施し、スタッフの安全意識向上に努めた。	適切に実施されていると判断しますが、昨年に続き、労災が1件発生しています。改めて原因の確認をするともに、貴団体で実施している労災防止活動の内容を周知・徹底していただき、再発防止に努めてください。

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	▼施設賠償責任保険及びレクリエーション保険(イベント開催時)等に参加した。 ▼AEDを配置し、スタッフには普通応急救命講習を受講させた。 ▼毎朝のミーティング及び作業前にはスタッフへの安全指導を実施した。 ▼利用者の安全確保については、日常巡視で施設等を確認するほか、遊具・ベンチ点検を適時実施し、異常の有無を都度確認し安全の確保に努めた。 ▼園内において施設閉鎖や工事等がある場合は、ホームページ等で利用者に周知喚起を行った。 ▼公園作業は、天候や時間帯、利用状況、イベント開催に応じて、利用者の妨げとならないよう実施した。 ▼強風時は、枝折れ等の巡回点検を行い、利用者の安全に努めた。 ▼公園利用・使用許可について不適切な行為等があった場合は、適正に指導した。 ▼大通地域の「ホームレス対策施設連絡協議会」(書面開催)に参加した。 ▼インフォメーションセンターで電話対応、来店者への案内業務を実施した。 ▼車いす、ベビーカーの無料貸出を実施した。 ▼飲料水の自動販売機を設置した。 ▼西3丁目にカフェテラス、西3・4丁目にとろきびワゴンを設置した。 ▼西2丁目に移動販売車を出店した。 ▼西9丁目遊水路に移動販売車を出店した。(夏休み期間) ▼西12丁目に移動販売車を出店した。(イベント時)	来園者が非常に多い当公園においては、極力、利用者の妨げとならないよう場所や時間帯に留意した作業工程を計画し、管理を行った。 強風時には即時、巡回及び樹木点検を行って枝折れ等を確認しており、問題発生時には迅速に処理することで来園者への安全を確保した。 噴水施設においては、日常点検を行うとともに、強風時には水飛沫が周囲園路まで吐出するため、公園利用者に被害が出ないように適宜停止し、ホームページ等で周知するなど利用者に周知した。 札幌市や警察、地域連携団体よりいただいた情報を活かし、利用者の安全と快適な公園利用を念頭に管理した。	計画的な作業や強風時のホームページ利用等、適切に対応が行われていると評価します。 芝生管理については、公園利用者が多い時間帯に行う難しさがありますが、事故が発生しないよう複数の人員で安全確認を行い、引き続き安全確保に努めてください。 また、都市の中心部において芝生を自由に利用できることは大きな特徴でもあるため、養生など一部利用を制限するような場合は、公園利用者の理解が得られるような丁寧な周知方法を模索していただきたいと思います。

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼巡回は毎日2回(創成川公園は1回)実施しており、イベント時等必要に応じて巡視回数を増やした。 ▼園内清掃は、4月から11月までを委託にて実施、12月より3月までは直営で実施するとともに、12月と3月においては福祉団体に委託した。公衆トイレ清掃は通年で委託し実施している。 ▼専門業者による各種法令点検を実施した。 ▼専門業者による噴水、遊水路の点検整備を実施した。 ▼枯枝除去及び剪定を行った。高所の枯損木等処理は委託し、適時処理した。 ▼市貸与備品である電気運搬車の定期点検整備を実施した。 ▼施設の破損等は初期対応として応急処置や養生で早急に対応し、調整がつき次第修繕した。 ▼事故やイベントによる施設破損は当事者・団体と連絡調整し、対応及び修繕した。 ▼水景施設及び排水設備、トイレ設備で老朽化により故障した機器、配管等において、安価なものは適時交換し、高額なものは札幌市に報告し、修繕していただいた。 ▼遊具は専門業者の点検結果にて、危険性のあるものは適時修繕した。 ▼冬季3月には融雪を早めるために、南北園路の除雪を委託にて行った。 ▼西11丁目中央噴水の躯体に漏水の兆候がみられたため、札幌市により防水塗装工事をしていただいた。 ▼西11丁目中央噴水の排水管にも漏水がみられたため、管交換工事をしていただいた。	日常点検、定期点検、法定点検は適正かつ予定通りに実施した。 市貸与備品は修繕や点検により、適正に管理し、経年劣化により廃棄する際も札幌市へ報告した。 施設の老朽化等については、市担当者へ日常的に報告するとともに、四半期報や年報、大規模修繕調査資料等に記載し、札幌市に提出した。 事故発生時は札幌市や警察等の関係機関と連絡調整しながら、迅速に対応した。 噴水等水景施設において高額なものは札幌市に修繕工事を行っていただき、噴水ポンプの劣化問題については札幌市と協議を進めながら対処した。	適切に対応されていることを評価しています。今後も指定管理者による実施が難しい業務等については、本市との協議を進めながら対応をお願いします。
▽ 防災 ▼環境マネジメントシステムによる火災、強風の災害対応手順に沿って防災講習を実施し、スタッフの意識向上を図った。 ▼緊急時に必要となる備品類の確認と準備、補充を行った。 ▼緊急時対応業者への連絡先、協力体制等について更新・確認した。 ▼台風接近や強風、大雨警報などの気象警報発令時には、職員による夜間巡回が行えるよう自宅での待機体制をとった。 ▼全園を確認しながら、必要時にはハザードマップを更新し、非常時に備えている。	今年度も台風被害はなく、強風による枝折れがあったが、適時、迅速に処理することで利用者の安全に努めた。 大雨や強風となりそうな天候時には、毎朝の公園スタッフミーティング時に注意喚起するとともに、日中に自然災害が発生した場合、迅速に対応できるよう指導した。 万が一倒木等が発生した際、迅速に処理できるよう、スタッフには伐木等の資格を計画的に取得させている。	適切に対応されていることを評価します。万が一に備えたスタッフへの資格取得推進は素晴らしい活動です。

(4)事業の 計画・実施 業務	▽ ボランティア・緑化に関する学習機会の提供業務		A B C D
	大通公園 ▼西12丁目で「バラフェスタ」を大通バラボランティアと共に開催し、バラツアーやバラの相談会などの企画が多くの利用者で賑わった。 ▼近隣小学校1校の社会学習の一環にて、小学生に花植え指導と植え込み体験を実施し、参加学生より好評を得た。 ▼近隣小学校1校の社会学習にて、大通ガイドボランティアが小学生に大通公園の説明を行い、良い評価をいただいた。そのお礼に、ガイドを受けた小学生たち(小学校)より「大通公園の魅力をつたえる」と題したイラストを75枚いただいたので、10月18日に開催した子どもイベント時に掲示し、多くの来園者に見ていただいた。 ▼ガイドツアーでは札幌や公園の歴史について説明を行い、参加者から好評を得た。 創成川公園 ▼「創成川ハロウィン」にてランタン作りの指導やグッズ販売、縁日遊び等の企画を実施し、参加した子どもたちから好評を得た。 ▼「まちの灯り」を開催し、創成ボランティアと共にスノーキャンドル作りを行い、設置・点灯を行った。通行者や観光客から称賛をいただいた。 ▼ガイドツアーでは札幌や公園の歴史、ライラックを中心とした植物の説明を行い、参加者から好評を得た。 ボランティア研修 ▼市民ボランティアを対象とした春・夏・秋(チューリップ)の花壇植え込みを実施した。参加者延べ233名 ▼大通公園花壇維持管理ボランティアに対する作業指導等を実施した。参加者延べ210名 ▼大通公園バラ花壇管理ボランティアに対し、講師による研修と公園スタッフからの指導を実施した。延べ859名 ▼大通公園ガイドボランティアに対する研修を実施した。延べ350名 ▼創成川公園植物ボランティアに対するライラックなどの樹木管理研修等を実施した。参加者延べ201名 ▼創成川公園お助け隊に対する作業指導等を実施した。参加者延べ209名 ▼創成川公園花くらぶに対する花壇デザインの研修・管理指導等を実施した。参加者延べ92名 ▼創成川公園除草ボランティアに対する作業指導等を実施した。参加者延べ58名	近隣小学校の社会学習で大通公園の花壇花植え体験を例年実施しているが、学習の一環として生徒に対応する機会なので、丁寧かつ真摯に教授し、無事に終えている。 子ども対象の自主事業イベントでは、参加者の自主性を伸ばすことを主に企画し、開催中は補助する姿勢で取り組んだ。 創成川公園での冬期自主事業イベントでは、参加者が会場を自由に彩れる企画とすることで年々盛上っており、来園者からも好評を得ている。 ボランティアに対する研修は毎年行っており、各ボランティアの知識は年々向上していると判断する。参加者も増減はあるが希望者は多く、除草や冬囲い等の手数が必要な作業では成果が出ており、園内の美観維持に貢献している。	適切に実施されています。今後も丁寧な支援を継続いただき、活動が絶えることのないよう尽力いただきたい。

▽ 観光、公園緑地、・施設、イベントに関する情報収集及び提供業務 ▼インフォメーションセンター&オフィシャルショップの運営(公園情報、観光情報などを提供) ▼報道関係への資料提供 ▼情報誌への掲載原稿の校正対応及び写真提供 ▼大規模イベント開催時の札幌市観光協会との連携・対応 ▼大通公園を活用した民間イベントや催しへの協力	スタッフから得た最新の情報を全スタッフで共有することで、一般利用者からの電話問い合わせやインフォメーションセンター利用者への情報提供、報道機関や情報誌からの質問回答や対応、写真提供等を適時行った。	適切に実施されています。
▽ 植物管理および施設管理に関する市民の自主活動及び交流の支援業務 大通公園 ▼花壇に関するボランティア ・市民による花壇花植:登録者数44名、登録団体4団体 約40名 ・市民による花壇維持管理:登録者数17名、登録団体 1団体 約20名 ▼バラ花壇管理ボランティア ・市民によるバラ花壇管理:登録者数49名 ▼ガイドボランティア ・ガイド勉強会の実施:登録者数41名 ▼リラの会への支援 ・西8丁目花壇の造成および管理 ▼彫刻美術館友の会支援 ・屋外彫像の清掃活動 創成川公園 ▼植物ボランティア ・市民による緑地管理:登録者数21名 ▼お助け隊 ・市民による総合管理:登録者数19名 ▼花くらぶ ・市民によるプランター総合管理:登録者数14名 ▼除草ボランティア ・市民による緑地除草管理:登録者数7名 ▼創成川ポポロ支援 ・安田侃彫刻の清掃活動 大通公園・創成川公園 ▼清掃ボランティア支援 ・園内清掃活動	植物管理ボランティアでは、バラ専門の講師により今年度も技術指導を受けることが出来ており、知識や技術の向上が見られる。経年者が多く、作業スピードも上がっているため予定通りに活動が進んだ。また、参加人数も増減はあるが全体的に登録者数は変わらないため、活動が疎かにならず、充実したものとなった。 施設管理では、彫刻清掃ボランティアにより大通公園、創成川公園に設置する彫刻、立像の洗浄清掃を行った。 ボランティア活動については、参加者の高齢化が進み退会される方もいるが、新規に加入される方も多く、活動自体は問題なく行えている。活動中は事故や怪我の無いよう指導し、作業中も呼び掛けを行うなど参加者の安全確保に努めて作業を行った。	適切に実施されています。 立地上、企業等のボランティア活動需要が多い公園であるため、企業との連携を模索するなど、他の公園との違いや有利な点を活かし、指定管理者ならではの活動を広げることに努めてください。
▽ 緑化に関する相談業務 ▼当公園において、相談対応の業務はなかった。		

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績
該当施設なし	件数(件)			
	人数(人)			
	稼働率(%)			

	R6年度実績	R7年度計画	R7年度実績
イベント			
学校行事			
その他			

▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件

▽ 利用促進の取組

大通公園

▼バラフェスタ(2日間) 約1,000名

▼バラカフェ(2日間) 約110名

▼バラの写真展 140名夏休み

▼こどもボランティア体験(バラの花がら摘み) 2名

▼西2丁目移動販売車 約3,400名

▼西9丁目移動販売車 約250名

▼大通公園であそぶか〜い(1日) 約500名

▼大通公園ガイドツアー 53名

創成川公園

▼ライラック写真募集 76名

▼ライラック投稿写真展 130名

▼夏休みこどもボランティア体験(彫刻清掃) 5名

▼創成川ハロウィン 約750名

▼創成川公園まちの灯り 約200名

▼まるわかりガイドツアー 39名

▼春の公園とライラックガイドツアー 43名

▼夏の公園とヘメロカリスガイドツアー 10名

▼秋の公園とハギの花ガイドツアー 20名

大通公園、創成川公園とも、計画していた参加・体験型イベントを予定通り開催し、参加者から好評を得た。

両公園で秋に開催している子どもイベントも定着化していることと情報発信を継続したことで昨年度とほぼ同数の参加者を見込んでいたが、「大通公園あそぶか〜い」開催日が雨となり参加者数は昨年度より半減した。「創成川ハロウィン」開催日は好天で昨年度より50%増の参加者となった。

西2丁目での移動販売車出店も継続し、市民や観光客へのサービス提供が図れたと考える。

適切に実施されています。

自らが施設を利用する際の視点で、公園の活用について着想を広げてみて下さい。

本年度のように天候に左右されることも考えられますので、参加者増へ向け、広報の方法も含め、参加意欲を高めるにはどうしたらよいか引き続き模索してください。

(6)付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	▼公園施設でのイベント情報、開花情報、各種お知らせなど迅速かつ正確に利用者へ伝えることを目的として広報活動を行い、公園・施設のPRに努めた。 ▼インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。 ・公式ホームページ 大通公園アクセス数は575,877件となり、前年度比約2.7%増の閲覧数となった。 創成川公園アクセス数は135,242件となり、前年度比約3.6%減の閲覧数となった。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。 ・札幌市イベントカレンダーへの掲載 札幌市イベントカレンダー情報掲載に協力し、広報活動の方法を増やした。 ▼公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和7年4月1日に公開した。 ▼プレスリリースの活用 開花情報やイベント情報等の告知を発信するためプレスリリースを行い、媒体に取り上げていただく機会を増やすとともに公園の広報活動に努めた。 ▼チラシの配布 子ども向け環境教育系イベントの情報チラシを近隣教育機関へ配布し、イベントPRを行った。	開花状況、イベント等に関する問い合わせが多く、リアルタイムで情報提供ができるツールとして、質問への回答を含め、情報発信にSNSを有効活用できた。 公式ホームページでの開花状況やイベント等の情報発信もこまめに継続したことで大通公園の閲覧数が増加したと考える。創成川公園においては4月の閲覧数が大幅にダウンしたことで前年より減となってしまった。 メールフォームでの質問等に迅速に対応し、公園利用時に安心して来園できるよう取り組んだ結果、今年度も来園者の方より「ホームページを見ている」「SNSをフォローした」等のお声がけをいただいた。	丁寧な情報発信をされており、評価します。一方、創成川公園のホームページアクセス数減について、昨年はイベントの途切れた秋季での大幅減でしたが、本年度の4月の大幅減についても考察をお願いします。 イベント情報や開花状況等の他に、日々の丁寧な維持管理なども公園のPRとなると考えられるため、発信する内容について模索してください。
	▽ 引継ぎ業務 ▼前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。		

2 自主事業その他						
▽ 自主事業			A	B	C	D
▼売店事業（インフォメーション&オフィシャルショップ） 売上高2,485千円 ▼手数料事業（自動販売機、カフェテラス、とうきびワゴン等） 売上高14,582千円 ▼ほか上記「利用促進の取組」に記載。			今年度も大規模イベントの開催に伴って園内は利用者・観光客で非常に賑わっており、その影響でインフォメーションセンター、カフェテラス、とうきびワゴンでの購入者が多く、昨年度より売店収入、手数料収入ともに約8%増となった。		昨年同様収入増となり、適切に実施されていると評価します。引き続き利用者のニーズを把握し、様々な企画運営をご検討いただくとともに、大通公園・創成川公園の立地を活かし、より一層の利用促進を期待します。	
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等						
▼第三者への委託については、以下の業務について市内企業に発注した。 ・自家用電気工作物保安管理 ・一般事業系廃棄物処理 ・カン・ビン等処理 ・産業廃棄物処理 ・園内清掃、公衆トイレ及び西3喫煙所清掃 ・消防設備点検 ・管理事務所他機械警備 ・公衆トイレ自動ドア保守点検 ・噴水設備等維持管理（西3・4及び遊水路） ・遊具保守点検 ・倒木・危険木処理 ・空調設備メンテナンス ・冬期清掃 ・冬期除雪（園路のみ） ・その他、直営では困難なもの（修繕・交通誘導警備など） ▼大通公園冬期清掃業務は福祉施設へ委託した。 ▼創成川公園園内清掃及び除草業務は福祉施設へ委託した。 ▼インフォメーションセンター&オフィシャルショップにて、福祉施設の方が作られた木のおもちゃ「木のZOO」などを販売した。			概ね市内企業等を活用した。 福祉施策への取り組みとして、大通公園ではインフォメーションセンター&オフィシャルショップで販売する商品を仕入れ、創成川公園では園内清掃業務及び除草業務について福祉施設へ発注した。		適切に実施されています。	

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	通年実施 ・大通公園インフォメーションセンター&オフィシャルショップ(西7丁目)に通年でアンケート箱を設置した。 ・回答者数103名	総合満足度及び接遇満足度については、目標値を上回っており、管理及び接遇に関しては特に問題はなかったと判断する。次年度も高評価を得られるよう努めたい。 利用者と接する機会が多いインフォメーションセンターのスタッフにおいては、札幌市や大通地区の情報を日々収集するとともに、園内における花の開花状況、大規模イベントの情報等を利用者や観光客へ適切に案内していることと、英会話のできるスタッフを雇用していることで外国人観光客とのコミュニケーションがスムーズであったことが高評価につながったと考える。 公園全体としては、大規模イベントの開催と通年で観光客(外国人含む)の来園で、イベント飲食ブースや季節の花見、とうきびワゴンを楽しみにされていた方達で賑わっていた。 利用者からの意見について、大通公園、創成川公園ともに喫煙に関することが非常に多かった。			
結果概要	・総合的な満足度は、要求水準75%に対し97%と高評価をいただいた。 ・接客態度に関する満足度は要求水準85%に対し96%と利用者からの評価は極めて良好であった。				
利用者からの意見・要望とその対応	【意見】 スケートボードが危ない(他、同様の意見2件) 【対応】 放送や掲示物、日中の巡視にてスケートボード利用者への注意喚起をしており、急には減らず苦慮していること、少しづつでも利用者減となるよう努めていることを説明した。 【意見】 喫煙者が酷い(他、同様の意見11件) 【対応】 喫煙制限区域のこと、改正健康増進法の影響による屋外での喫煙者の増加について説明し、園路沿いやベンチに受動喫煙の配慮を促す簡易看板を掲示してお願いしていることを説明した。 【意見】 北2条のベンチが喫煙者の溜まり場になっている(創成川) 【対応】 その場所が喫煙禁止区域ではないため、表示物等で注意喚起することしか出来ず苦慮していることと、頂いたご意見は札幌市に伝えることを説明した。				

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)
収入	161,743	178,895	17,152
指定管理業務収入	152,983	157,352	4,369
指定管理費	152,983	157,006	4,023
利用料金	0	0	0
その他	0	346	346
自主事業収入	8,760	21,543	12,783
支出	161,015	178,198	17,183
指定管理業務支出	157,095	159,898	2,803
自主事業支出	3,920	18,300	14,380
収入-支出	728	697	▲ 31
利益還元	0	0	0
法人税等	728	618	▲ 110
純利益	0	79	79

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金及び賃金スライド等)」により4,023千円の増となった。
- ▼ その他は、事業寄附金346千円があった。
- ▼ 自主事業収入は売店、とうきびワゴン手数料収入等が好調となり12,783千円の増となった。
- ▼ 指定管理業務支出は、外部委託費が大きく増加し、賃金、光熱水費も含め2,803千円の増加となった。
- ▼ 自主事業支出は、手数料の利益が大きく自主公益事業への繰入が増加のため、計画より14,380千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。

昨年に引き続き大規模イベント開催時の来園者及び観光客、インバウンドの増加にて売店販売やカフェテラス、とうきびワゴンの収入が増加となった。雪まつり時のとうきびワゴン販売が中止となったことは予定外であった。

支出については外部委託費の超過が大きかった。

次年度についても継続して収支の安定した予算計画を立案し、実施していく。

A B C D

適切に収支管理が行われていると判断します。また、昨年に引き続き計画以上の増収となっている点について評価します。今後も外部委託費や光熱水費の高騰の影響を踏まえた予算計画をお願いします。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持	▼札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和7年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費節減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
▼維持管理については、作業計画に基づき、ほぼ適正に遂行することができた。 ▼樹木管理では、高木剪定及び枯枝・折れ枝除去、低木の枯枝剪定、冬期間には樹木育成のための剪定等を行い、利用者の安全と樹木の健全な育成に努めた。 ▼芝生管理では、大規模イベント設営がない期間に芝生の草刈や施肥、播種や張芝、灌水等を重点的に行い、可能な限り芝の状態維持に努めた。カラスによる芝剥がしにおいても、再生に向けて播種や張芝を行った。 ▼施設管理では、老朽化にて故障や不具合が生じた施設・設備においては可能な限り迅速に修繕して復旧するとともに、長寿命化対策がとれるものは品種交換するなど施設の保全及び利用者の快適利用を図った。 ▼西6丁目ステージを利用する際に音源を使うイベントにおいては、当日の利用前に音量を測定し、市の条例に記する範囲での使用を指導することで近隣からの苦情減に努めた。 ▼自主事業イベントについては、子ども対象の企画を盛り込んだイベントを開催したが、大通公園は雨天で参加者数は昨年度の半数となった。創成川公園は好天で昨年度より参加者数が50%増となった。両イベントとも企画については参加者から好評を得た。 ▼収益事業については、特にカフェテラス及びとうきびワゴンの営業が好調で、観光客が並ぶほどであり、新品目を売り出すなど購入者へのサービス提供を図った。 ▼マナー啓発については、日常の巡回時に自転車の乗り入れやスケートボードの滑走、音響機器の使用や投げ銭による路上ライブ、物販、広告物配布、無許可占有物、自転車・バイクの園内駐車等の不適切な行為について、随時注意・指導を行った。 ▼ボランティアについて、今年度も全ボランティアの活動を継続し、多くの参加者によって良い公園づくりを行った。ボランティア登録数は若干増えている。 ▼西11丁目中央噴水においては躯体や配管等からの漏水が見つかったため稼働を停止し、札幌市により防水塗装工事や配管交換修繕をしていただいた。新年度6月より稼働する予定。	『大通公園』 ▼作業においては、大規模イベントの準備・開催期間を考慮した作業計画を立案し、事故なく安全に維持作業を進めていきたい。 ▼樹木管理について、大幅に車道や歩道にかかっている枝の縮小剪定を計画し、1年毎に対象区域の剪定施工を予定する。 ▼芝生管理について、特に踏圧による芝枯れが酷い区域については、土壌改良及び播種、張芝、施肥や灌水等で復旧と回復の管理計画を進めていく。 ▼カラスによる芝生剥ぎ取りの要因であるコガネムシの幼虫については、フェロモントラップの設置や養生シート設置、芝の張り替え等の対策を継続し、被害の抑制を図りたい。 ▼施設管理について、老朽化や経年劣化の兆候が見られる噴水設備や公衆トイレにおいては、定期的な点検や診断を行うことで故障や破損を防ぎたい。 ▼マナー啓発について、特にスケートボードの滑走については苦情が減るよう、日常巡回による継続的な利用指導を中心に行い、路面標示や放送による呼びかけも継続する。今年度は様子見していた夜間の警備員巡回も状況を見て計画、実施する予定。この問題については、指定管理者の取り組みだけでは改善が困難なため、今後も札幌市と連携し、より効果のある対策を検討したい。 『創成川公園』 ▼作業においては、狸二条広場イベントの準備・開催期間を考慮した作業計画を立案し、事故なく安全に維持作業を進めていきたい。 ▼樹木管理について、樹木の良好な生育を進めるために、開園10年を経過し外す予定の樹木地下支柱ベルトだが、斜面地の樹木や高木下のベルトは除去が困難であるため、今後も札幌市と協議して進めたい。 ▼芝生管理について、カラスによるコガネムシの幼虫捕食時の芝生剥ぎ取り事例の防止にて、今年度もテグス糸を狭小幅に設置し被害の抑制を計った。 ▼南2条にある換気塔周囲の木製デッキの腐朽が年々進行しているため、今後も札幌市と対処について協議して進めたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
年間を通じての活発な利用や頻繁に大型イベントが開催されている中で、高い要求水準に対し、適切な維持管理がなされていることを評価します。これからも誰もが安心して心地よく過ごせる公園環境の維持に努めてください。また、各公園の立地や特性を捉えた、指定管理者だからこそできる魅力的な空間づくりや運営手法について、引き続き積極的なアプローチを期待します。	上記の所管局評価を参照してください。